

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	高橋沙織	学校名	北海道北斗市立久根別小学校
実施学年	小学2年	教科	道徳
单元名	ぽんたとかんた		

《学びを深めたいポイント》

【育てたい児童の姿】

- ① 積極的に行うべきことと、人としてやってはいけないことを正しく区別することが大切だとわかる。
- ② 正しいことについて、自ら正しいと信じるところから従って行動することのよさに気づき、さまざまに考える。
- ③ よいことをすすんで行うには、どのようにすればよいかということについて自分なりの考えをもち、すすんで行動しようとする意識を高める。

【ねらい】

ぽんたとかんたの行動について考えることをとおして、物事のよいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことをすすんで行おうとする判断力を育てる。

《SKYMENU 活用のポイント》

【ポジショニング】

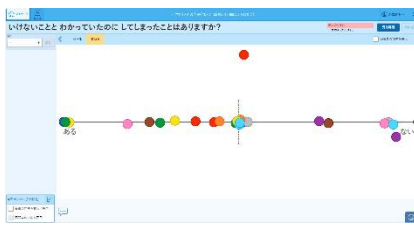
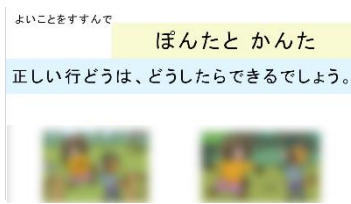
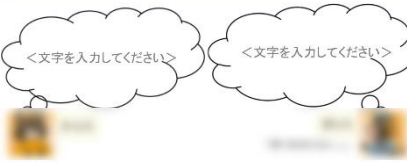
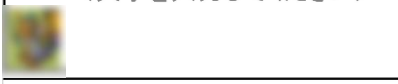
導入で児童の経験を可視化するために活用した。授業の前にポジショニングで「いけないこととわかっていたのにしてしまったことはあるか」というアンケートを取り、回答させた。挙手ではなく、ポジショニングアプリを活用することで他者の意見に流されたり、周りの様子を窺ったりすることなく、自分の経験を回答することができていた。児童は、自分のことを振り返り、問題意識をもって学習に取り組むことができた。

【発表ノート】

発表ノートに自分の考えを記入させ、教師がモニターに画面一覧で映すことによって、児童の進捗状況がわかったり、考えを確認して意図的指名をしたりすることができた。

また、個人で考えてから全体交流に移りやすく、児童の考えをモニターに映すことで、スムーズに交流をすることができた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	① アンケートの結果を振り返り、自分の体験とその時の心情を想起させる。 ② 本時のめあてを知る。 正しい行どうは、どうしたらできるでしょう。	 ○事前取ったアンケートの回答を重ねて提示する。 	○ポジショニングで事前に「いけないこととわかっていたのにしてしまったことはあるか」というアンケートを取り、結果を可視化する。 ○朗読をする前に発表ノートを見通しを持たせる。
展開	③ 教材「ぼんたとかんた」の朗読を聞く。 ④ 「ぼくは行かない」とぼんたが言ったときの二人の気持ちを考える。 ⑤ にっこり笑ってうなずいた時のぼんたの気持ちを考える。	「ぼくは行かない」と、もうど、はっきりと言った ぼんたの 気持ちと、言われた かんたの 気持ちを 考えよう。  ○児童に自分の考えを記入させる。 にっこりわらってうなずいた時、 ぼんたはどのような気持ちだったでしょうか <文字を入力してください>  ○児童に自分の考えを記入させる。	○発表ノートに自分の考えを記入させる。 ○モニターに画面一覧で映すことによって、児童の進捗状況を確認したり、意図的指名をしたりすることができる。 ○児童の考えをモニターに映すことで、円滑に交流をすることができる。
まとめ	⑥ 正しい行動をするためには、どのような気持ちや考えが大切かを発表ノートにまとめ、提出する。 ⑦ 発表ノートを見ながらそれぞれの考えを交流する	正しい行どうをするためには、 どのような気持ちや考えが大切でしょうか。 正しい行どうをするには、 <文字を入力してください> が大切。	○早く提出した児童は、他の児童の提出されたノートを見て交流し、友達の考えを知る。 ○児童から提出されたノートを添削しながら全体交流をし、返却する。

《実践を振り返って》

児童の考えが記入された発表ノートを提出箱に提出させることで、他の児童の考えの交流を立ち歩かずに机上で行うことができ、授業中の全体交流が行いやすくなった。また、交流時の移動の時間も短縮できるため、その分児童の思考を深める時間や交流の時間を多く設定することができた。

授業の評価をする際は、児童の考えを一覧で見ることができるのでとても役に立つ。以前は、紙媒体のワークシートで提出させていたため、児童一人ひとりのファイルを確認していたが、画面一つで確認できるため、評価の時間短縮につながった。